

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	○身体拘束をしないケアの実践 ・身体拘束や権利擁護等に関する学習の機会等、現状からの改善を目指した活動の取り組み	①3ヵ月毎の期間を設け見直しをしているが必要最小限となるような拘束とする。 ②権利擁護等に対し、取り組みを活発化する。	①職員間の情報共有を密にし、施設などを出来るだけ減らす。 ②職員で構成している研修委員会において学習機会を設ける。	6ヶ月
2	49 (18)	○日常的な外出支援 ・近所の散歩や通院前後の買い物などの改善に向けての取り組み	①気候や体調に考慮しながら外出機会を増やす。	①一斉の外出は年に何回も出来ないが、少人数での外出を増やしていく。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。